

music talk 「浪花のモーツァルト」モーツァルトを語る。

脳の大規模な活動を一番よく示すもの。それが音楽である。だから良い作品を聞く事は必要でありモーツァルトを、もっと聞かなければならない。——人類が生んだ至高の作曲家、モーツァルト。その作風…簡潔にして明快! 演者はごまかし様が無い。誰でも知っている「トルコ行進曲」冒頭のタカタカタン!! を弾いただけで、そのピアニストの技量がパレル。そして今、世界を挙げて、モーツァルト生誕250年記念イベントがくり広げられている。モーツァルトは理想的

な音楽一家に生まれ、才能は三歳にして開花、神童として名声を博した。しかし彼自身の生活は、あまり恵まれたものでは無かった。結婚してからは益々借金に苦しみ、困窮の度を増し、結局極度の疲労から健康を損ね、彼を死へと追いやった。おそらく、墓の下から彼は夜毎、わめき続けているに違いない。「金くれ〜」音楽事典の10ページ以上に亘る彼の作品群は、質、量ともに凄い! の一語に尽きる。私も数に於いては、彼に負け

ん位書いとる! 残念な内容が違いますが、私の一曲が三、八秒というのがありますが、彼の場合、一つ一つが長編推理小説であり、一曲作るのに数ヶ月単位である。いくら天才とは言え、これだけの量を生産するには、来る日も来る日も、楽譜にとらめっこしていたに違いない。これだけ仕事をこなす乍ら、なおかつ困窮の度を深めていったのは何故か? 人類史上、すさまじい光芒を放ちつつ駆け抜けて行った不運の天才! 三十五の生涯は短か過ぎた。ちなみに

「浪花のモーツァルト」の異名を丁戴する私、キダタロー。75才。まだ生きている。生き過ぎだ! の声も多い。ホッケ!!

**プロフィール**  
昭和5年宝塚市に五男一女の末子として生まれる。関西学院に入学し中学部から高等部へ。高等部後半に学生バンドへ参加。その後、プロのピアニストに転向。主に放送番組のテーマ曲やCMソング、校歌・社歌・歌謡曲など幅広く作曲活動を展開している。  
代表作として、NHK「古寺巡礼」「生活実録」、ABC「プロポーズ大作戦」、ABC-R「ヤングリクエスト」等の番組テーマ曲、北原謙二「ふるさと」の話をしよう等の歌謡曲。



キダ・タロー

モーツァルトだけじゃない! 日露の作曲家2人のメモリアルにも注目!

トリビュート・トゥ・タケミツ (武満徹没後10年特別企画)

札幌とPMFのコラボレーションが実現!

1994年にレジデント・コンポーザーとしてPMFに参加した作曲家・武満徹に捧げる演奏会「トリビュート・トゥ・タケミツ」が行われます。今年は武満徹の没後10年の節目でもあり、彼の作品を知り尽くした札幌・尾高忠明の指揮のもと、札幌交響楽団とPMFオーケストラのメンバーが結集。「死と再生(映画『黒い雨』から)」「ノスタルジア」「波の盆」など、世界のタケミツの名曲の数々が鮮やかに聴けます。



PMFにおける武満徹の指導風景(1994年)。若い音楽家たちに囲まれ、熱心に音楽を語る姿が印象的でした。

ショスタコーヴィチ100th Anniversary

今年は、モーツァルトの生誕250年であると同時に、20世紀のロシアが生んだ偉大な作曲家ドミトリー・ショスタコーヴィチの生誕100年にあたります。これを記念し、ヤコフ・クライツベルク指揮によるPMFオーケストラ演奏会では、ショスタコーヴィチの「交響曲第5番」が演奏されます。ロシア生まれのコンダクターが、祖国の偉大な作曲家に捧げるメモリアル演奏に、どうぞご期待ください。

ドミトリー・ショスタコーヴィチ  
Dmitri Dmitrievich Shostakovich (1906-1975)

ソビエト・ロシアを代表する作曲家・ピアニスト。ベートーヴェンやブラームス、マーラーと並ぶ交響曲の大家。弦楽四重奏曲も秀逸であり、その楽曲の完成度はハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、バルトークらに匹敵すると言われ、芸術音楽における20世紀最大の作曲家の一人として認識されている。ポピュラー音楽も愛し、ジャズ風な軽妙な作品も数多く残している。

ticket

PMFチケット情報

4月22日(土)からチケット発売開始【大阪・名古屋・東京公演は3月26日(日)から】  
PMFフレンズ会員は4月17日(月)先行発売【大阪・名古屋・東京公演は3月13日(月)先行発売】

室内楽演奏会のチケットがお求めやすくなりました!



ウィーン・フィル、ベルリン・フィルをはじめとしたPMF教授陣による室内楽演奏会のチケット(S席)を、従来の5,000円から4,000円というお求めやすい価格で販売します。対象演奏会は札幌コンサートホール Kitara 大ホールでの計5公演。詳しくは、配布中のPMF2006公演パンフレットをご覧ください。

全国プレイガイド

- チケットぴあ  
予約 ☎0572-02-9999 お問い合わせ ☎0572-02-9111  
【チケットぴあ、サンクス、セブンイレブン各店】  
※サンクス、セブンイレブンでは学生割引のお取り扱いはありません。
- ローソンチケット  
予約 ☎0570-063-001 お問い合わせ ☎0570-000-403  
【ローソン各店】※学生割引のお取り扱いはありません。

札幌市内プレイガイド

- チケットぴあ  
【札幌パルコB2F、道新大通プラザ道新プレイガイド、JRツインクルプラザ札幌支店、ほくせんブルミエ、コーチャンフォー美しが丘店2F・ミュンヘン大橋店、新さっぽろアーキテクチャデュオプレイガイド】
- ローソンチケット  
【ソニーホールプレイガイド(北3西3小野瀬ビル1F)、日本旅行オーエムシートラベル(ダイエー琴似店3F・新さっぽろ店2F・東札幌店1F)】
- Kitaraチケットセンター / ☎011-520-1234 ●大丸プレイガイド / ☎011-221-3900 / ☎011-222-4434 ●4プラプレイガイド / ☎011-251-5574
- ヤマハミュージック北海道札幌店 / ☎011-512-1726 ※学生割引のお取り扱いはありません。 ●道新大通プラザ道新プレイガイド / ☎011-241-3871
- JR北海道みどりの窓口・ツインクルプラザ(お取り扱いしない演奏会もございます。)
- 札幌芸術の森センター売店(札幌芸術の森での演奏会のみ) / ☎011-592-4141
- (財)PMF組織委員会窓口(発売初日の3月26日(日)、4月22日(土)を除く平日のみ、9:00~17:30) / ☎011-242-2211
- 学生割引購入には学生証の提示が必要です。
- 札幌市以外で行われる演奏会のチケットは、それぞれの開催地のプレイガイドで発売いたします。詳細は各地主催者にお問い合わせください。

PMF2006 公式ポスター掲示募集

PMF2006のキャッチコピー「わかちあう、音楽の楽しさ。」を表現した今回の公式ポスター。街中に貼り、PMFを一緒に盛り上げていきませんか? PMFでは、ポスターの掲出場所を提供して下さる方を募集しています。皆様のご協力をお願いします。  
お問い合わせは(財)PMF組織委員会(☎011-242-2211)まで。

- 主催:(財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会
- 助成:北海道/札幌市/野村国際文化財団/(財)地域創造
- グランドパートナーズ(特別支援企業):野村證券(株)/松下電器産業(株)/日本航空/トヨタ自動車(株)
- 特別後援:(株)北海道新聞社/(株)日本経済新聞社
- 協賛:北海道電力(株)/(株)北洋銀行/サッポロビール(株)/東日本電信電話(株)/(株)北海道銀行/(株)NTTドコモ北海道/札幌商工会議所/北海道放送(株)/(株)ジェイティービー/(株)札幌銀行
- 特別協力:ヤマハ(株)
- 協力:北海道旅客鉄道(株)/つばめ自動車(株)
- 施設協力:(財)札幌市芸術文化財団

私たちはPMFを応援しています。

NOMURA Panasonic JAL TOYOTA

■お問い合わせ・発行  
(財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階  
TEL.011-242-2211 FAX.011-242-1687  
<http://www.pmf.or.jp>

Pacific Music Festival  
PMF  
NEWS

2006 Sapporo

札幌が音楽一色に染まる夏を前に、PMF2006の情報をいち早くお届けします。  
モーツァルト生誕250年、ショスタコーヴィチ生誕100年となる今年。  
首席指揮者には  
**フレリー・ゲルギエフ**。  
圧倒的なカリスマ性で世界を魅了するその演奏に期待が高まります。  
客演指揮者には、同じくロシア出身の**ヤコフ・クライツベルク**、  
レジデント・コンダクターは昨年に引き続き**サッシャ・ゲッツェル**、  
レジデント・コンポーザーには**細川俊夫**、  
教授陣には  
**ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団**の首席奏者のほか、  
**ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団**のメンバー13名が加わります。  
さらに、  
武満徹の没後10年を迎える特別演奏会では札幌交響楽団とPMFオーケストラ・メンバーの共演が実現。  
聴きどころ満載の27日間、どうぞご期待ください。



ゲルギエフ再び。

2006.3.9  
VOL. 46

# news topics

PMFトピックス



## Valery Gergiev

首席指揮者  
ワレリー・ゲルギエフ

マリンスキー劇場芸術総監督  
ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者

PMF2004の最終公演で「PMFオーケストラは大いなる声を持ち、優れた芸術的才能、力強さがあり、毎回信じられないような素晴らしい演奏をしたと、私は永遠に語り続けるでしょう。(中略)また近いうちにお会いしましょう」との言葉を残したワレリー・ゲルギエフが、再びPMFに帰ってきます。そしてその演奏プログラムには、生誕250年を迎えるモーツァルトの「ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191」を選択しました。チャイコフスキー、ムソルグスキー、プロコフィエフらロシアの作曲家による大作オペラを得意とするゲルギエフがモーツァルトを演奏する機会は世界的にも稀であり、PMF2006最大の聴きどころと言ってもいいでしょう。「ゲルギエフ×モーツァルト」この夢の組み合わせは、どんな感動を私たちに与えてくれるのでしょうか。

## PMF2006オーディションが世界19都市で開催されています。

1月22日のベルリンを皮切りに、今年もアカデミーオーディションが始まりました。今回はハノイ(ベトナム)で初めて開催するほか、シドニー(オーストラリア)でも4年ぶりに開催します。さらに、3月上旬までの約1ヵ月半に世界19都市(11カ国・地域)でPMFアカデミーを目指す若者の挑戦が続きます。今年のPMFオーディションへの応募者総数は2月末現在で約1,900人(うち日本人は約350人)にのぼり、過去最高。ライブオーディションとテープオーディション(コンポジションコースは譜面審査)が並行して行われ、レジデント・コンダクターや教授陣が厳正な審査を行い、結果を3月中旬から4月初めにかけてPMFのホームページなどで発表する予定です。



ロンドンのオーディション会場。オーディションは各地の音楽学校やホールなどを借りて実施します。



パーカッションなど持ち運びが大変な楽器のオーディションは、現地で別会場を借りる場合もあります。



ライブオーディション風景。協奏曲やオーケストラ曲など、短い時間の中で自分の技術や音楽性をアピールしなければなりません。

\*写真は本人の承諾を得たうえで撮影しています。

### information

#### 【開会式情報】

#### 今年のPMFは、開会式からアツい!

札幌芸術の森・野外ステージで高らかなファンファーレとともに開幕するPMF。今年は恒例のウィーン・フィルメンバーによる演奏のほか、主役となるPMFオーケストラメンバーの演奏(弦楽・木管)も加え、さらにお楽しみいただける内容に。札幌の夏を告げるPMF2006のさわやかな開会式は、まさに一見の価値アリ。入場整理券は、6/12(月)から札幌市内各区民センターなどで配布します。



#### 【PMF組織委員会から】

#### ホームページが全面リニューアル!

3月中旬から、PMFの公式ホームページがリニューアルします。コンサート情報やアーティスト情報など、PMFに関する最新情報を随時配信する予定です。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<http://www.pmf.jp/>



## PMF × モーツァルト

今年モーツァルト生誕250年。PMF2006でもゲルギエフ、クライツベルクらクラシックの巨匠たちがモーツァルトを大きくフィーチャーした演奏プログラムを用意しています。また、モーツァルトの故郷オーストリアのみならず、世界各国で、モーツァルトに関連したさまざまな演奏会やイベントが企画されており、2006年はさながらモーツァルト一色といった印象です。この記念すべき年に改めてモーツァルトという作曲家の人物像や楽曲の深い魅力にふれてみてはいかがでしょうか?

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト  
Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)



オーストリア、ザルツブルク生まれ。近世以降の音楽史上最大の天才。父はザルツブルクの宮廷ヴァイオリン奏者。幼年時から神童と呼ばれ、ウィーンを拠点に宮廷音楽家として活動するも、天才ぶりを妬む周囲の妨害や自身の奔放な性格から経済的には困窮したとされる。短い生涯にも関わらず、交響曲41曲、協奏曲50曲以上、弦楽四重奏曲23曲、オペラ20曲など、多数の名曲を世に残し、それらは200年以上経たずとも、少しも色あせることがない。

## mozart A to Z

**A** Amadeus (アマデウス) / モーツァルトのミドルネーム。1984年に公開されたモーツァルトの生涯を描いた映画「アマデウス」のタイトルにもなっている。

**B** Beethoven (ベートーヴェン) / ベートーヴェンの演奏を聴いたモーツァルトは「諸君、この少年を記憶しておきたまえ」と言ったと伝えられる。近世音楽史上モーツァルトに比肩する天才を捜せばベートーヴェンと言われるが、この二人の天才は正反対の性格だったという。

**C** Constanze Weber (コンスタンツェ・ウェーバー) / モーツァルト夫人。かつてモーツァルトが片思いの恋をしたアロイジアの妹で、「魔弾の射手」の作曲家ウェーバーの従姉。

**D** Death (死) / フランツ・ヴァルゼック伯爵から匿名で依頼を受けた「レクイエム」の作曲を生えることなく、1791年12月5日、モーツァルトは35年の生涯を終えた。

**E** Eine Kleine Nachtmusik (アイネ・クライネ・ナハトムジーク) / セレナード第13番長調の別名で、モーツァルトの作品中でもポピュラーな曲のひとつ。第1楽章の冒頭のメロディーはあまりにも有名。

**F** Freemason (フリーメーソン) / 中世ヨーロッパに出現した秘密結社。モーツァルトもその父も加入していた。1785年、モーツァルトは正式にこの魔術団体に加入しており、「魔笛」などもフリーメーソンの団員の依頼により作られたもの。

**G** minor (ト短調) / 交響曲第25番、40番、弦楽五重奏曲、ピアノ四重奏曲など、モーツァルトがト短調という調性を用いた曲は、数こそ少ないものの、彼の悲劇的・情熱的な感情を表現したものとして名高い。

**H** Healing (ヒーリング) / 4,000Hz前後の周波数が多いモーツァルト楽曲には癒しの効果があるとされている。

**I** Image (肖像) / モーツァルトの肖像画や銅像では、いずれも「神童」に相応しい顔や表情をしていることが多いが、実際の顔に関しては諸説ある。有力なのは「11歳の時に罹った天然痘の痕がいくつもあり、丸鼻で近眼」というものである。本当の顔立ちを知る手がかりとなるはずだったデスマスクは、葬儀の後の整理の際コンスタンツェがうっかり落として割ってしまった。

**J** Joseph (ヨーゼフ) / フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(1732-1809)。オーストリアの作曲家。104曲もの交響曲を作曲し「交響曲の父」と呼ばれる。モーツァルト、ベートーベンと並ぶウィーン古典派3大巨匠の一人と称される。

**K** Köchel (ケツェル) / モーツァルトの作品を時系列的に配列した番号。「K. 626」「KV626」などと表示される。考案者であるルードヴィヒ・フォン・ケツェルの名から。

**L** Ludwig Alois Ferdinand Ritter von Köchel (ルードヴィヒ・フォン・ケツェル) / 科学者だったケツェルは、モーツァルトの未完作品や断片を拾って整理し、1862年に「モーツァルト全作品年代順主題目録」として出版した。この目録は第6版(1964年)まで改訂され、現在も最新版の刊行が準備されている。

**M** Marriage (結婚) / モーツァルトを語る時、彼をとりまく数多くの女性達との奔放なロマンスを忘れることはできない。「僕が無駄口をたいたいたすべての女性と結婚しなければならぬのだとしたら、僕は200人もの妻を持たなければならない」と語るとおりである。

**N** Nannerl (ナンネル) / マリア・アンナ・テークラ。テークラはモーツァルトの父の弟の娘で、モーツァルトより2歳年下。モーツァルトの遊び相手、また、疑似恋愛の相手だったとも言われている。5歳年上の姉マリア・アンナ・ヴォルフガング・イグナチア。愛称もナンネル。

**O** Opera (オペラ) / 「フィガロの結婚」、「魔笛」など、モーツァルトはその生涯の中で数々のオペラの名曲を作曲している。

**P** Piano (ピアノ協奏曲第26番 二長調 K. 537「戴冠式」) / 1790年モーツァルトが皇帝レオポルト2世の戴冠の祝典の際に演奏した。当時すぐれたピアニストとして活躍していたモーツァルトは、多くのピアノ作品を残している。

**Q** Queen (女王) / モーツァルトは6歳のとき、ウィーンのシエンブルン宮で女帝マリア・テレジアに演奏を披露した際、転倒したモーツァルトを助けたマリー・アントワネットに求婚したというエピソードがある。真相は不明。

**R** Requiem (レクイエム) / レクイエム 二短調 K. 626はモーツァルトの作曲した「死者のためのミサ曲」で、彼の最後の作品とも言われている。曲調はミサ曲独特の荘厳で「静謐さ」を感じさせる素晴らしい仕上がりになっている。

**S** Salieri (サリエリ) / アントニオ・サリエリ(1750-1825)。作曲家。一説によれば、モーツァルトを殺害した犯人とされている。映画「アマデウス」でもモーツァルトを殺害した人物としてサリエリが描かれているが、それを裏付ける確証はない。

**T** Theophilus (テオフィロス) / モーツァルトの洗礼名は Johannes Chrysostomus Wolfgangus Theophilus Mozart。Theophilus (テオフィロス) はギリシア語で「神を愛する/神に愛された」の意で、これをラテン語に意識した Amadeus (アマデウス) を通称としていた。

**U** Unfinished (未完成) / レクイエムの作曲依頼者は匿名であり、精神が不安定だったモーツァルトは顔の見えない依頼者を「自分の死期を告げる者」だと思い込み、精気が萎え、ついに未完成のまま病死してしまう。曲はモーツァルトの死後、弟子であるフランツ・ジュースマイアによって完成した。

**V** Vatican (ヴァチカン) / モーツァルトは、ローマへ旅行した14歳のとき、ヴァチカン宮殿門外不出の秘曲、アレグリの「ミゼレーレ」をたった1回聴いただけで頭に入れてしまい、いとも簡単に譜面に起こしたという。

**W** Wien (ウィーン) / モーツァルトの母国オーストリアの首都であり活動の拠点。ちなみに生まれたのはザルツブルク。

**X** (不明) / モーツァルトは殺された? 昨今の研究でも、モーツァルト殺害説はかなり濃厚になりつつある。容疑者も、サリエリ説、フリーメーソンの刺客説、妻コンスタンツェ説、ゴットフリート・ヴァン・スウィーテン男爵説など多々あるが、どれも決定打とはなっていない。

**Y** Young genius (若き天才) / 幼いときから神童・天才の名を欲しいままにしたモーツァルト。ヴァチカンのエピソードのエンディングで、秀才サリエリが努力してたり着いた極みを、軽々と越えていく比類ない作曲の牙えは、まさに「Young genius」と呼ぶにふさわしい。

**Z** Zauberflöte (魔笛) / モーツァルトが「魔笛」の制作にかかったのは、彼が死んだ1791年。「魔笛」はそれまで上流階級のものであった音楽の枠を超え、大衆の心を捉えた空前の大ヒットとなった。

### PMF2006で取り上げるおもなモーツァルトの作品と演奏会

- 管弦楽曲**
  - 協奏交響曲 変ホ長調 K. 297b  
PMFオーケストラ演奏会  
7月15日(土)札幌コンサートホール Kijitara  
7月16日(日)札幌芸術の森・野外ステージ
  - クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622  
PMFオーケストラ演奏会  
7月22日(土)札幌コンサートホール Kijitara  
7月23日(日)苫小牧市民会館
  - ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191 (K. 186c)  
PMFオーケストラ演奏会  
7月29日(土)札幌コンサートホール Kijitara  
7月31日(月)ザ・シンフォニーホール(大阪)  
8月2日(水)愛知県芸術劇場  
コンサートホール(名古屋)
  - 8月3日(木)サントリーホール(東京)  
ピクニックコンサート  
7月30日(日)札幌芸術の森・野外ステージ
- 室内楽曲**
  - クラリネット五重奏曲 イ長調 K. 581
  - フルートとハーブのための協奏曲 ハ長調 K. 299  
PMFウィーン・アンサンブル演奏会  
7月10日(月)札幌コンサートホール Kijitara  
7月17日(月・祝)紀尾井ホール(東京)
  - ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K. 452
  - セレナード第10番 変ロ長調「グラン・ヴァルティータ」K. 361  
PMFウィーン木管アンサンブル演奏会  
7月13日(木)札幌コンサートホール Kijitara
  - 弦楽四重奏曲第15番 二短調 K. 421 (417b)
  - 弦楽四重奏曲第19番 ハ長調「不協和音」K. 465  
PMFウィーン弦楽四重奏演奏会  
7月11日(火)札幌コンサートホール Kijitara  
7月12日(水)室蘭市民会館
  - ホルン、ヴァイオリン、2つのヴィオラとチェロのための五重奏曲 変ホ長調 K. 407 (386c)
  - オーボエ四重奏曲 へ長調 K. 370 (368b)  
ミニトックコンサート  
7月22日(土)札幌コンサートホール Kijitara(小ホール)

※演奏会の詳細については、配布中のPMF2006公演パンフレットをご覧ください。